



Cisco UCS XE シリーズ サーバ、リリース 7.1 の Cisco UCS サーバ構成ユーティリティのリリース ノート

最終更新：2026 年 10 月 2 日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 （フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED “AS IS” WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2025–2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



第 1 章

Cisco UCS XE シリーズ サーバ、リリース 7.1 の Cisco UCS サーバ構成ユーティリティ

- [はじめに \(1 ページ\)](#)
- [更新履歴 \(1 ページ\)](#)

はじめに

このマニュアルでは、UCS サーバ設定ユーティリティ (Cisco UCS SCU) および関連するオペレーティングシステム (OS) の機能、システム要件、解決した問題、および未解決の問題について説明します。このドキュメントは、*CISCO UCS* サーバ構成ユーティリティ ユーザーガイドとともに使用してください。

Cisco UCS XE シリーズ サーバでは、オペレーティング システムのインストールは Cisco Intersight を介してのみサポートされています。Cisco UCS SCU UI を介したインストールは、これらのサーバではサポートされていません。

更新履歴

次の表は、このマニュアルの改訂履歴を含んだものです。

表 1: リリース 7.1

改訂日	説明
2025 年 12 月 4 日	リリース 7.1(6.250100) 向けリリース ノートを作成。



第 2 章

サポートされるオペレーティング システム

- ・ [リリース 7.1\(6.250100\) でサポートされているオペレーティング システム \(3 ページ\)](#)

リリース 7.1(6.250100) でサポートされているオペレーティング システム

Cisco UCS XE シリーズ サーバーのリリース 7.1(6.250100) では、Cisco Intersight を使用した次のオペレーティング システムのインストールのサポートが追加されました：

オペレーティングシステム	サーバ
• Windows Server 2025 • Windows Server 2022 • Red Hat Enterprise Linux 9.6 • Red Hat Enterprise Linux 10.0 • Ubuntu 24.04.3	Cisco UCS XE130c M8 コンピューティング ノード

リリース 7.1(6.250100) でサポートされているオペレーティング システム



第 3 章

サポートされるプラットフォーム

- [リリース 7.1\(6.250100\) でサポートされているプラットフォーム \(5 ページ\)](#)

リリース 7.1(6.250100) でサポートされているプラットフォーム

Cisco UCS SCU 7.1(6.250100) は、次のサーバでサポートされています：

- UCSXE-130C-M8



第 4 章

新機能

- [リリース 7.1\(6.250100\) の新機能](#) (7 ページ)

リリース 7.1(6.250100) の新機能

Cisco UCS SCU は次のオペレーティング システムをサポートしています：

- Windows Server 2025
- Windows Server 2022
- Red Hat Enterprise Linux 9.6
- Red Hat Enterprise Linux 10.0
- Ubuntu 24.04.3



第 5 章

未解決の問題

- ・ [リリース 7.1\(6.250100\)](#) での未解決の問題：なし (9 ページ)

リリース 7.1(6.250100) での未解決の問題：なし

リリース 7.1(6.250100) での未解決の問題：なし



第 6 章

既知の問題

- [リリース 7.1\(6.250100\) の既知の問題](#) (11 ページ)

リリース 7.1(6.250100) の既知の問題

このセクションでは、既知の問題について簡単に説明します。

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCws25068	Unified Edge サーバーにカーネルバージョン 6.8.0-71 の Ubuntu 24.04.3 をインストールすると、統合ネットワークカード (ICE ドライバ) が検出されず、ネットワーク設定と接続が妨げられます。この問題は、カーネル 6.8.0-71 がこのプラットフォームの NIC の ICE ドライバをサポートしていないために発生します。	1. Ubuntu Node リリース ページ から GA ISO をダウンロードし、ブート可能 USB またはリモート対応メディアを使用してインストールします。 2. Ubuntu Security Pool から必要な 6.8.0-80 カーネルパッケージ (.deb ファイル) をダウンロードします。 3. すべての .deb ファイル (linux-image、linux-headers、linux-modules、linux-modules-Extra、linux-tools) をフォルダに配置し、genisoimage や mkisofs などのツールを使用して ISO を作成します。 4. Ubuntu のインストール後に、サーバーに ISO をマウントします。 5. dpkg -i x.deb を使用してカーネルパッケージをインストールします。 6. サーバーを再起動し、カーネルバージョンが 6.8.0 ~ 80 であることを確認します。 統合ネットワークカードが検出され、設定に使用できるようになります。	6.0(1.251030)

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
CSCws31464	UEFI セキュアブートを備えた RHEL 10.0 では、統合ネットワークインターフェイス ドライバ (Intel ICE など) は、公開キーがマシン所有者キー (MOK) リストにない場合、ロードに失敗することがあります。これは、多くの場合、mok-db エントリが欠落しているように表示されます。		6.0(1.251030)

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
		RHEL で公開キーファイル <code>intel-public-key-ace-ko.rsa</code> を登録するには、次の手順を実行します。 1. Public Key を使用して、公開キーファイルをダウンロードします。 2. ダウンロードしたファイルの内容を抽出し、<code>intel-public-key-ace-ko.rsa</code> という名前のキーファイルを見つけます。 3. <code>intel-public-key-ace-ko.rsa</code> ファイルを RHEL オペレーティング システムの優先ディレクトリにコピー。 4. カスタム ISO を作成します。 1. vKVM の起動。 2. 仮想メディア：イメージの作成をクリックします。 3. <code>intel-public-key-ICE-ko.rsa</code> が配置されているファイル/フォルダを選択します。 4. 名前を指定して、カスタム ISO をダウンロードします。 5. ISO をマウントし、.rsa ファイルを OS にコピーします。 5. ターミナルを開き、該当のディレクトリに移動してください： 1. RHEL システムの端末セッションを開きます。 2. 作業ディレクトリを、キーファイルが存在する場所に変更。 6. Mokuutil を使用して公開キーをインポートします： 1. 次のコマンドを実行して、キーをインポートしてください： <pre>mokuutil --import</pre>	

不具合 ID	説明	回避策	影響を受ける最初のバージョン
		intel-public-key-ice-ko.rs 2. プロンプトが表示されたら、キーを登録するための安全なパスワードを入力します。このパスワードは、その後のリブートプロセスで必要になります。 7. RHEL ホストを再起動して、マシン所有者キー（MoK）の登録手順を開始します。 8. 再起動時にマシン所有者キーを登録する 1. リブート時に、MoK 管理画面にアクセスするよう求められたら、任意のキーを押します。 2. [MOK の登録（Enroll MOK）] を選択します。 3. [続行（Continue）] を選択します。 4. [はい（Yes）] を選択、キーのインポート手順で指定したパスワードを入力します。 9. [Reboot] を選択します。 10. システムがオペレーティング システムで起動したら、イーサネット インターフェイスが存在し、動作していることを確認します。	



第 7 章

関連資料

- [関連資料 \(17 ページ\)](#)

関連資料

- 「[Cisco Intersight サーバ ファームウェアのリリース ノート、リリース 6.0](#)」を参照してください
- [Cisco Intersight Unified Edge eCMC ファームウェア リリース、6.0 のリリース ノート](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。